

目標達成計画

作成日:平成27年4月17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	建物の構造上、避難経路が限られているため、地域の方々の協力が不可欠である。また、災害を想定した訓練の回数が少ない。	日頃より交流を持ち、消防訓練時に、近隣の方に参加して頂けるような協力体制を作り、お互いに災害時に助け合える関係作りを目指す。	地域の方々と普段からのコミュニケーションを密にし、また、回覧板や運営推進会議などを通じ、地域の方々とコミュニケーションできる情報を収集し、地域行事等に参加していくようにする。災害を想定した訓練の回数を年間4回以上行う。	12ヶ月
2	27	ケース記録の他に、個別のチェック表で状況変化に対応しているが、ケース記録・チェック表共に、より有用性のあるものにしていく必要がある。	ケース記録・チェック表の内容を充実、統一させることにより、よりよいチームケアの実践に繋げていく。	ケース記録の記入の統一を図り、また、チェック表をさらに綿密なものとし、それを基に定例会で検討してケアの実践にあたる。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。